長年の自治体訪問の成果！
〝組織内議員との連携による米子駅リニューアル〟

2023年7月29日（土）、米子駅の新駅舎および南北自由通路が完成し、利用が開始された。南北自由通路は、「大きい」を意味する方言から「がいなロード」と命名された。

米子駅周辺は、JR山陰本線で、駅南・駅北地区に分断されており、両地区の連携不足や移動の円滑化などが課題となっていた。その改善に向けて、JR西労組議員団会議の中田利幸議長（米子市議）と、福間ゆたか前議長（元鳥取県議）が、地域活性化の観点から長年その必要性について、米子地方本部及び米子支部組合員と共に働きかけを続けた結果、今回の開業へとつながった。

通路の開業に合わせて、米子駅改札口の営業や駅内の商業施設が同時にオープンする等、地域の皆様に喜んでいただける「米子駅」となり、山陰エリアの重要な交通結節点としての機能強化が図られることで、交流人口の拡大やまちの活性化に大きな期待がかかっている。

JR西労組は、今後も組織内議員と連携した自治体訪問を実施し、地域公共交通の課題解決を図る。

米子駅リニューアルにあたり、尽力されたJR西労組組合員及びJR西日本連合各組合員に御礼を申し上げる。

仲間の議員と連携して交通政策を前進させよう！

南北140ｍの「がいなロード」

新しくなった米子駅

向日市議会議員選挙
京都地本、京都支部が中心となり選挙戦を全力で支援!!

7月30日（日）投開票の京都府向日市議会議員選挙において、JR西労組議員団会議で組織内議員の近藤宏和氏が見事に当選を果たした。7月23日（日）の告示日から、京都地方本部と京都支部が中心となり献身的に選挙戦を支援した。

選挙戦を支えた京都地本・京都支部、梶原議員と大伴議員

祝辞を述べた泉健太議員（左）

今選挙は、定数18人に対し22人が立候補する厳しい選挙戦となったが、出陣式には連合京都　原敏之会長やJR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の山井和則衆議院議員（京都6区）など、多くの支援者や仲間が必勝に向けて激励に訪れた。さらに、JR西労組議員団会議所属の梶原英樹議員（京都府議会）と大伴るい議員（長岡京市議会）が、連日、JR西労組組織内議員の仲間として選挙戦を支えた。

そして、近藤宏和候補の「向日市で子育てをしたい！向日市に住みたい！住み続けたい！『選ばれるまち、向日市へ』発展させていく」という訴えが有権者に届き、全体の7番目となる844票を獲得し、2期目の当選となった。

また、JR連合国会議員懇談会に所属する泉健太副会長（衆議院議員：京都3区）が訪れ、祝辞を述べるサプライズもあり、皆で喜びを分かち合った。

引き続き、私たちと政治との関わりや重要性について理解を深めるとともに、組合員の投票行動や候補者の浸透度合いなど、日頃から政治への参加を広げる運動を着実に進めていくこととする。

ロマンは実を結ぶ
福岡地方本部 博多駅分会　No.324
九州の玄関口である博多駅にてお客様をおもてなしすべく、日々奮闘

私たち、福岡地方本部博多駅分会は、博多駅及び博多南駅で業務を行う87名の組合員が所属しています。

2022年10月に中央出札が中国交通サービスに委託されたほか、今年6月には小倉駅が博多駅の管理駅になるなど、大きく働く環境が変化するなかで、原分会長及び野村副分会長が異動となったため、藤井分会長代理、河端副分会長、冨里副分会長代理、長岡書記長の暫定三役体制で手探りながら頑張っています。

分会の課題としては、若手役員への運動の継承が挙げられますが、今年5月に開催された中央本部主催の第14回ソフトボール大会では、福岡地本の代表として参加し、ベテラン若手双方が一致団結して取り組む大変有意義な機会となりました。

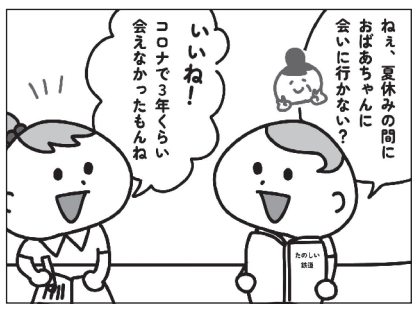
ここ数年はコロナの影響もあり、レク活動の開催を見送っていましたが、今後も積極的なレク活動を通じて、若手組合員の組合活動への理解と育成を深めていきます。

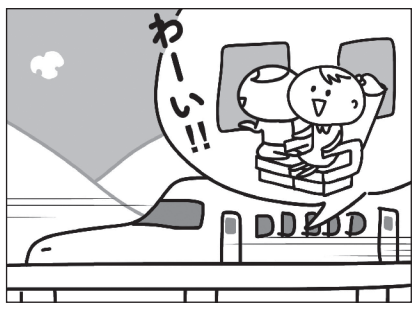
第14回中央本部ソフトボール大会では福岡地本を代表して参加

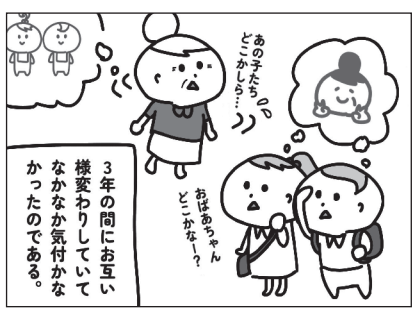
九州の玄関口である博多駅にてお客様をおもてなしすべく、日々奮闘している博多駅分会を今後ともよろしくお願いいたします。

〈福岡地本発〉

それいけ！はりまくん　おばたみゆき







一口メモ
2023年度 第1四半期決算について

2023年度第1四半期決算は、コロナの影響の縮小に伴うご利用回復等により、3期連続の増収・増益となった。なお、四半期純利益は、前年度の税制特例適用（435億円）の反動により減収となっている。一方、不安定な国際情勢に伴う資源価格の高騰等により厳しさを増しており、先行きは依然として不透明である。

3期連続となる黒字の達成は、日々業務に励む、JR西労組組合員の努力によるものであり、2023春闘の最終回答時に表明を行った「一時金」の要求については、今後議論を行い、然るべき時期に、会社に対して「人財への投資」の必要性を強く訴えていくこととする。

JR西日本 2023年度第1四半期決算

<連結決算>　（単位：億円、%）

	2022年度第1四半期	2023年度第1四半期	対前年 増減	対前年 比率	2023年度通期予想	対前年 増減	対前年 比率
営業収益	2,971	**3,692**	721	124.3	15,120	1,164	108.3
（うち運輸収入）	1,577	**1,975**	398	125.2	8,070	1,124	116.2
営業利益	195	**522**	326	267.3	1,150	310	137.0
経常利益	169	**486**	317	287.5	995	258	135.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	578	**333**	△ 245	57.6	665	△ 220	75.1

【ポイント】
- ●コロナの影響の縮小に伴うご利用回復等により、3期連続の増収・増益
- ●四半期純利益は、前年度税制特例適用の反動により減益
- ●各セグメントとも順調に回復
- ●ご利用の回復に加え、増収施策等の効果もあり、運輸収入はコロナ前88・5%（2019年比）まで回復。対通期業績予想でも概ね想定通り（2018年比92・4%）
- ●安全に関する施策を着実に実施した上で、コスト構造改革の取組みを深度化し、通期▲310億円に対し65億円と計画通り進捗
- ●概ね想定内の範囲で推移していることから、4月28日公表の予想を据え置く。
- ●株主年間配当は、1株あたり100円の予定を据え置く。

川柳　第24回文化・文芸作品コンクール／川柳・標語部門　佳作　［たすけあう　あなたのそばに　西労組］　砂川 健一さん（広島地本・広島新幹線運転所分会）